

地域農林経済学会 2014年度 理事会議事録（案）

日時：2014年10月17日(金) 18:00—19:30

場所：京都府立大学 稲盛記念会館 2階会議室

議長：飯國芳明

出席者：(全体) 佐藤豊信、古塚秀夫、増田佳昭、桂明宏、中塙雅也、内山智裕、藤本高志、矢倉研二郎、池上甲一、小田滋晃、浦出俊和、北野慎一、増田清敬、竹歳一紀、伊庭治彦、北川太一、金子治平、仙田徹志、堀田学、工藤卓雄、平児慎太郎、波多野豪、岩谷幸春、辻和良、清原昭子、武藤幸雄、飯國芳明(以上、理事 27名)、多田稔(監事)、河村律子(監事)

(別途、委任状 12通) 定足数 23人を確認

1. 会長挨拶

佐藤会長より開会の挨拶がなされた。

2. 議長選出

飯國芳明氏を選出した。

3. 議事録署名人選出

辻和良氏及び岩谷幸春氏を選出した。

4. 報告事項

(1) 2014年度常任理事会・大会実行委員会の開催状況について

浦出庶務担当理事より、2014年度常任理事会・大会実行委員会の開催状況について報告がなされた。

(2) 2014年度事業中間報告および会計中間報告について

浦出庶務担当理事より 2014年度事業中間報告、仙田会計担当理事より 2014年度会計中間報告がなされた。

(3) 編集委員会報告

増田編集担当理事より、学会誌の編集状況について報告がなされた。続いて、編集委員会要項、投稿規程、個別報告論文投稿要領の改正内容について報告がなされた。なお、名誉会員に関連する項目については、総会において名誉会員に関連する地域農林経済学会会則の改正承認を待って、改正がなされる旨の説明がなされた(条件付き改正)。続いて、矢倉編集担当理事より、学会誌論文(一般)及び個別報告論文についての新たな審査基準について説明・報告がなされた。

5. 審議事項

(1) 2013年度事業報告、会計報告(案)及び会計監査報告について

浦出庶務担当理事より 2013年度事業報告、仙田会計担当理事より 2013年度会計報告(案)の説明がなされた。続いて、河村監事より会計監査の報告がなされ、会計処理が適正に行われていることを確認した旨の報告がなされた。審議を行った結果、すべてが承認された。

(2) 2015年度事業計画及び予算案について

浦出庶務担当理事より 2015年度事業計画、仙田会計担当理事より 2015年度予算案の説明がなされた。審議を行った結果、すべてが承認された。

(3) 新入会員及び退会者について

中塙組織広報担当理事より、新入会員リスト及び退会者・除籍(予定)者リストが提示され、内容の説明がなされた。審議の結果、了承された。

(4) 学会費長期滞納者等の会員資格喪失について

中塙組織広報担当理事より、学会費の長期滞納者のリストが提示され、会則に従い対応する旨の説明がなされた。なお、理事会・総会時までに支払意思が確認できたものについては、年内の納入を条件として、また特段の理由が存在し、かつ理事会及び総会にて承認された者については、

会員継続もしくは通常退会として取り扱う旨の説明がなされた。審議を行った結果、承認された。

(5) 学会諸賞の選考結果について

古塚学会賞選考委員長より、学会諸賞の選考結果と選考理由について説明がなされ、以下の業績を受賞候補とする案が示された。審議を行った結果、了承された。

(地域農林経済学会賞)

内田和義 『日本における近代農学の成立と伝統農法 老農船津伝次平の研究』 農文協刊, 2012年8月

(地域農林経済学会誌賞)

推薦なし

(地域農林経済学会特別賞：2名)

池上甲一 『シリーズ 地域の再生 14 農の福祉力 アグロ・メディコ・ポリスの挑戦』 農文協刊, 2013年7月

小田切徳美 『農山村再生に挑む—理論から実践まで』 岩波書店, 2013年8月

(6) 会員制度の変更と諸規程の整備について

浦出庶務担当理事より、会員制度について、名誉会員とシニア会員の見直しを行いたい旨の説明がなされた。具体的な見直し内容は以下の通り。①会員種別の名誉会員を廃止し、正会員の会員一区分とする(会則の改正)。②シニア会員の資格は65歳以上とし、会費の減額及び一括前払い制度を導入する(会員種別に関する規程細則の改正)。③名誉会員表彰を学会事業に位置付ける(会則の改正)。ただし推薦については名誉会員推薦内規に従って行う。審議を行った結果、同改正案を総会に付議することが了承された。

(7) 名誉会員の推薦について

浦出庶務担当理事より、本年度名誉会員として、大原興太郎会員、河村能夫会員、山口三十四会員を名誉会員として推薦したい旨の説明がなされ、了承された。

(8) 学会誌の電子ジャーナル化について

佐藤会長より、学会誌の電子ジャーナル化の経緯及び趣旨について説明がなされた。続いて、増田副会長(業務改革担当)より、学会誌の電子ジャーナル化についての具体的な内容とプロセス、関連して学会業務委託契約の更新について説明がなされた。主な内容は以下の通り。

<学会誌オンラインジャーナル化について>

- 1) 学会誌は2015年6月号(第51巻第1号)からオンラインジャーナルに移行する。すなわち同号から冊子体の発行を廃止する。
- 2) オンラインジャーナルはXML方式とし、J-Stageにアップロードする。各号の公開時期はこれまでの発行時期を継承する。「会員限定」などによる閲覧制限をしない。
- 3) 冊子体が必要な会員等に対しては、必要に応じてオンデマンド印刷の対応を行う。料金体系は今後決定する。
- 4) (株)昭和堂を通じて行っている学会誌冊子体の書店等での販売は中止する。

<関連課題への対応>

- 1) 当面、年4回程度のニュースレターを紙媒体で発刊して、冊子体廃止による会員との伝達手段の弱化を補い、会員とのコミュニケーションをより充実させる。コンテンツ等については、今後詳細を検討。
- 2) 会員のメールアドレスの的確な把握を行い、電子メールによる連絡体制を強化する。紙媒体のニュースレターも、電子メールへの移行を見込む。
- 3) 学会誌投稿料等は当面据え置く。

<学会業務委託契約の更新について>

- 1) 担当ごとに業務内容と処理手続き確認し、中西印刷(株)との業務委託契約の更新を行う。
- 2) 来年1月の契約更新に間に合うよう業務委託契約更新作業を行う。更新作業は第19期常任理事が担当する。

以上について審議の結果、了承された。

なお、電子ジャーナル化の実施に伴う会員制度の見直しと規程の改正(賛助会員の区分及び会誌の配布の扱い等)については、次期常任理事会等で検討し、次年度総会時に改定を諮ることとした。

(9) 第20期理事候補者について

浦出庶務担当理事より、第20期理事候補者リストが提示された。審議の結果、了承された。

(10) 2015年度学会大会の開催地について

佐藤会長より、2015年度学会大会の開催地について 鳥取大学にしたい旨の提案がなされ、了承された。

6. 古塚副会長より閉会の挨拶がなされた

以上

上記議事録を承認します。

(承認年月日)

(署名人氏名)

印

2014年11月19日

辻 和良
辻

上記議事録を承認します。

(承認年月日)

(署名人氏名)

印

2014年11月21日

岩谷章春
岩谷